

6年1組 学級活動指導案

1. 活動名 『学級のめあてと組織』 学級や学校の生活の充実と向上に関すること
2. 活動目標 和倉小学校の最上級生として、学校のよさを引き継ぐための意気込みを話し合い活動を通して確認する。また、学校のリーダとしての取り組みを確かなものにするため、学級のめあてを設定する。

(1) 学級会のテーマの理由をふまえて、自分の考えを進んで発表しようとしている。

〔活動への関心・意欲・態度〕

(2) 学級の一員としての自覚をもち、友達と協力しながら、テーマ解決に向けて自己の役割を考えている。

〔活動についての思考・判断〕

(3) 友達と話し合い活動する過程において、自分の考えを明確に発表し、集団活動を進めるために必要な技能を身につけている。

〔活動についての技能・表現〕

(4) 学級会での話し合いのルールやマナーなど、集団活動の進め方などに関する基礎的な事項を理解している。

〔活動についての知識・理解〕

3. 指導にあたって

(1) 活動観・・・『日常生活と学級活動との密接なる関連で望ましい集団活動を！！』

児童は四月に進級し、和倉小学校の最上級生としての自覚と責任をもって生活しようとしている。そこで、本活動では5年生までの和倉小学校を振り返り、日常生活に関連した身近な話題（学級の目標）を取り上げることで活動意欲を高めたい。また、本校は単式学級であることから、学級活動がそのまま円滑な児童会活動（縦割り班活動）や学校行事の運営に密接に関わってくる。すなわち学級活動が、特色ある学校づくりの一翼を担っていると見えよう。以上から、児童の願いを生かし、児童の自発的、自治的な活動によって解決の方法を見いだす「望ましい集団活動」を目指したい。

(2) 児童観・・・『一日一歩、活動を通して一人ひとりの成長を認め励ます』

特別活動の特質を生かしながら、子ども達が自ら考え主体的に判断し行動できる資質や能力を身に付けさせたい。具体的には、①好ましい人間関係の醸成、②基本的なモラルや社会生活上のルールの習得、③協力してよりよい生活を築こうとする自主精神を培うこと、である。そして活動の成果として、『上級生としての責任』などの議題が、子ども達同士で活発に話し合えればと考えている。

(3) 指導観・・・『特別活動の特質を生かし、生活力の向上を目指す』

活動に関しては、教師の指導と児童の主体的な活動を組み合わせて行うスタイルを心がけ、結果の出来ばえより、活動過程重視の指導観に立って、その子なりの実践のよさや可能性を見取り、クラスの活動を温かく見守りたいと考えている。また、特別活動で身に付けた力（話し合い活動など）は、他の活動や教科等で発揮され一層豊かに発展する可能性がある。そこで、この話し合い活動が、子ども達の生活の一部として定着するよう活動の場を多く設定したい。そのためにも、生徒指導の三機能を念頭に置き、「総合的な学習の時間」や「道徳」との関連を図りながら、一人ひとりの児童がその子に応じて意欲的に活動に取り組み、満足感が持てる活動の場づくりに努め、活動を通して個々の生活力向上へとつなげたい。

4. 本時の学習

(1) 目標 学校のリーダとしての取り組むために、学級のめあてを設定し意気込みを高める。

(2) 本時の評価規準 テーマの理由をふまえて、自分の考えを進んで発表しようとしている。

(3) 準備 学習ノート

(4) 展開 (活動内容と評価)

活動内容 ●児童の反応	T	*指導上の留意点 (支援)	評価
1. 開会宣言及び恒例行事 〔活動形態〕 児童による自主的な活動 ●よ～し、頑張るぞ!	0 3	*開会にあたり互いに握手することを習慣化することで、友達との関わり合いの頻度を高め、学級の友愛的な雰囲気を深めさせる	
2. 本時の活動内容をつかむ ●心と体を話し合いにスイッチオン			
和倉小学校のよさを再発見しよう			
〔活動形態〕 児童による自主的な活動 ●春・・・スプリング祭り、運動会 ●夏・・・一年生と、保育園とのプール ●秋・・・わくわくテーリング ●年間を通じて・・・六年生が学校のリーダーとして頑張っていた	10	*児童の司会を基本とするが、進行上問題場面が生じた時、間接的な助言をし、児童が協力し合って話し合いの進行上の問題を解決するように促す *既習体験事項を生かして、意欲的に取り組ませる	
3. 本時の活動内容に迫る 〔活動形態〕 教師の指導と児童の主体的な活動の組み合わせ ●準備が大変そうだった、できるかな、協力が大切だ、思い出を作ろう、下級生のため、学校のために頑張るぞ ●学校のお兄ちゃん、お姉ちゃんにならなくてはならない	18	*見通す場を設定する *六年生の活躍を見ていて感じたことからめあてを考えさせる *和倉小学校校歌の二番の歌詞に意識をもたせる *活動が遅れがちな子どもに配慮しながら進める	テーマの理由をふまえて、自分の考えを進んで発表しようとしている。 【評価の方法】 行動観察
4. 本時の活動をまとめ、次時の活動を提示する 〔活動形態〕 教師が中心になっての指導 ●“こぞる力” てなんだ? ●発言ができてよかった		*児童の活動内容を承認し、実践への意欲付けをするとともに、進行上の工夫について称揚し、建設的な意見や問題解決に役立つ考えなどを発表した児童を励ます	
学校をリードする上級生になろう			
●自分たちも去年の六年生のように協力して頑張るぞ!!	5	*今後の活動の見通しを提示する	